子どもの遊び支援者にみる教育的配慮

社会環境学部　社会環境学科　助教 白坂　正太

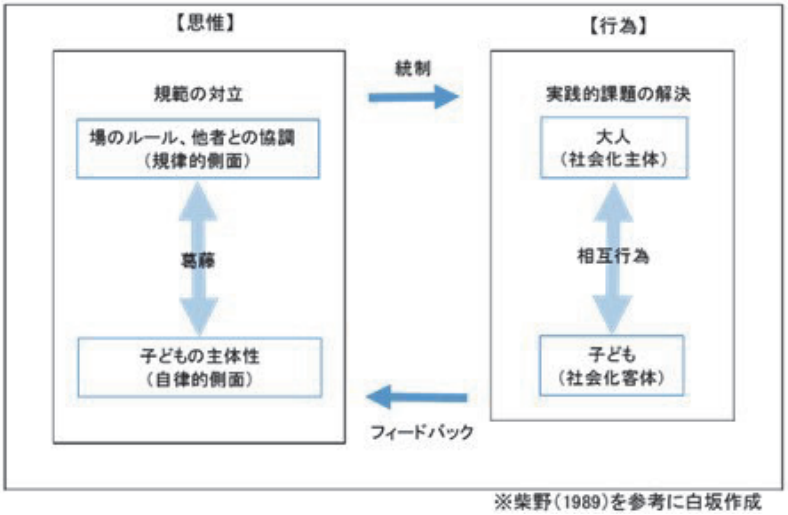
分　　野　教育社会学

キーワード　社会化、教育観、遊び支援

研究概要

本研究は、社会学的社会化研究がその存在を前提として議論を進めてきた「子ども」を問い直すために、「大人」が「子ども」に向ける二つの教育的配慮（ariés1960）の関係性に着目しながら、社会的存在としての「子ども」を描きだすことを目的としている。

教育的配慮の交錯が激しいと考えられる遊び支援現場に着目し、対象現場の実践的課題とその解決へのアプローチを把握することで、教育的配慮の2側面「水路づけ」「尊重」の関係を構造的に捉えていく。子どもの規律的側面「水路づけ」と自律的側面「尊重」において、遊び支援者にどのような葛藤が生じるのかを明らかにし、【思惟】と【行為】レベルの観点から整理しながら、その教育観変容過程を分析する。



※柴野（1989）を参考に白坂作成

利点特徴

従来の社会化研究が枠組みとしてきた＜親―子＞＜教師―生徒＞といった役割に準拠しない枠組みを構築する。

応用分野

人間関係の形成に関する研究領域に応用できると考えられる。